

第4学年体育科学習指導案

日時：平成24年10月31日（水）5校時

場所：仙台市立館小学校 体育館

仙台市立館小学校 4年3組

指導者 教諭 安積 章彦

1 単元名 リズムダンス（F 表現運動）

～ だれだって ダンサーズ ～

2 単元の目標

- (1) リズムダンスに進んで取り組み、だれとでも仲良く練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- (2) リズムダンスの動きのポイントやよい動きを知るとともに、自分に合った課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫することができる。
- (3) リズムの特徴をとらえて、全身で踊ることができる。

3 評価規準

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく運動をしようとしたり、運動する場の安全に気を付けようとしたりしている。	自分の力に合った課題をもち、練習や発表の仕方を工夫している。	表したい感じを表現したりリズムの特徴を捉えたりして踊るための動きを身に付けている。

(2) 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none">・リズムの特徴を捉えて踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。・運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流しようとしている。・運動する場の安全を確かめようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・リズムダンスの動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題や題材を選んでいる。・よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。	<ul style="list-style-type: none">・リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。

(3) 学習活動に即した評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスに関心を持ち、教師の指示や自分の思いつきをもとに踊ろうとしている。 ・運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や発表、交流しようとしている。 ・運動する場の安全を確かめようとしている。 ・自分達の選んだ曲で、友達と調子を合わせて楽しく全身で踊ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて、動きのポイントを捉えて友達とかかわり合いながら踊ろうとしている。 ・リズムの変化に動きを合わせたり、自分で動きのリズムを変えたりして踊ろうとしている。 ・自分に合ったリズムの曲を選び、友達とかかわり合いながら踊ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のリズムに乗って、即興的に全身で踊ろうとしている。

4 指導に当たって

(1) 児童観（男子12名 女子17名 計29名）

①館小学校の伝統である運動会で行う全校ソーランでは、大きな動きと元気のよい掛け声で堂々と演じることができる。また音楽の学習が好きな児童が多く、元気よく合唱したり、集中して演奏したりすることができる。休み時間には、男女一緒にドッジボールやけん玉などをして遊ぶ児童もおり、概ね良好な関係と言える。一方で、男女間で良好な関係をつくることができずにいる児童も数名いる。また、恥ずかしさから授業中の発言も小さな声でしかできず、仲の良い友達以外とは会話することができない児童もいる。

②子どもたちは運動会の全校ソーランが好きで、北海道の猟師の気持ちを想像しながら力強く踊り、「ソーレ引けヨイショ！」という掛け声を踊りながら全力で出すことができる。しかし、ソーラン節は一斉に踊る演技のため、友達と掛け合うことはない。また、リズムも非常にゆっくりとしているため、現代的なリズムの音楽に乗って体を動かすことは経験していない。

(2) 単元観

①一般的特性（指導者から見た特性）

- ・リズムダンスは、軽快なリズムに乗って全身で踊る運動である。また、友達とかかわりあって練習や発表、交流をする学習である。
- ・自己の心身を解き放して、リズムに乗ったり、リズムの変化に合わせて体の動かし方を変えたりして踊ることが楽しい運動である。また、互いのよさを生かして仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

②児童から見た特性

- ・音楽に合わせて自由に体を動かすことが楽しい。
- ・様々な動きを見つけることが楽しい。
- ・友達と一緒に活動することが楽しい。

このような特性をもつリズムダンスでは、友達と教えあったり、集団での動きを体を動

かしながら考えたりして、かかわりを深めながら楽しく学習することができる。また、音楽がかかっている間はずっと動き続けるため、運動量の確保でき、体力の向上も期待できる。

(3) 指導観

以上の運動の特性や児童の実態をふまえ、研究主題「児童のわかること、できることを大切にした体育学習の在り方」「～指導の評価の工夫を通して～」と関連付け、以下の第3地区研究の授業の手立てを工夫しながら授業を展開していく。

第3地区研究 児童が「わかる」「できる」ための手立て

- ①楽しく体を動かせる題材提示の工夫
- ②子どもの思いや願いを生かした指導の工夫
- ③児童の関心ややる気を高める評価の工夫

本単元の「リズムダンス」では、日常生活の中でよく聞く音楽とほとんど同じリズムの曲にあわせて踊るため、楽しく体を動かし続けることができる。しかし、子どもたちは気持ちに乗っていても体で表現する機会が普段はないため、体の動かし方（踊り方）を知らない。そこで、本単元では、型にはまらない踊り方の基本を楽しく学習できる場を設け、少しずつ自ら動きを創作できるようにしていく。

リズムダンスでは、「やってみる（習得）」「ひろげる（活用）」「ふかめる（探求）」活動を設定する。

「やってみる」・・・リズムに乗るための基本的な動きを教師がリードして行い「みんなで一緒に体験する」ことから始める。個人で踊るだけでなく、ペアを作ることで徐々に即興的な動きができるようにしていく。

「広げる」・・・「やってみる」で経験した動きをヒントにして、リズムの特徴を生かしたのり方や対応の仕方を工夫して、踊って楽しむ。

「深める」・・・それぞれのリズム感を表現する動きの中心となる「なか」の場面を中心として、「はじめ」と「おわり」をつけて踊る。お互いにじっくりと見合う発表会形式をとることで、一人一人のよさを発見しあい、認め合う関係を築くことで学習を締めくくりたい。

児童が「わかる」「できる」ための手立て

① 楽しく体を動かせる題材提示の工夫

(1) 児童の身近に関心をもてるような題材

- ・単元の導入で担任によるウェルカムダンスを披露することで、リズムダンスをすることへの意欲を持たせる。ウェルカムダンスは、子どもたちがダンスの興味を持ち、「できる」と思えるような内容にする。
- ・曲調やリズムに特徴がある現代の音楽を多く活用して、踊る意欲を持たせる。

(2) 題材の中のスモールステップ

●個から集団へ

- ・リズムに合わせた動き方のポイントを一斉指導で理解させ、一人一人が大きく体を動かして踊れるようにする。

- ・個別に決まった動きや即興的な動きができるようになった後、ペアを変えながらクラスのたくさんの友達と踊る活動を通して、かかわって踊る楽しさを感じたり、様々な動きのおもしろさを感じたりできるようにする。
- ・単元の後半では、気に入ったリズムの音楽に合わせて4～5人のグループを作り、単元の前半で習得した動きを活用させて短い作品づくりをする。

●「試す」から「選ぶ」へ

「試す」・・・「やってみる」（習得）、「広げる」（活用）

「選ぶ」・・・「深める」（探求）

- ・単元前半では、毎時間「やってみる」と「広げる」を繰り返し、即興的に踊っていく活動を中心に進めていく。教師が教えたい踊りを覚えるだけでなく、キーワード（動キーワード）をもとに音楽に合わせた動きを自ら作ったり、友達の動きを真似したりする経験を積むことで、単元後半の自分に合ったリズムの音楽で踊る「深める」活動につなげる。

② 子どもの思いや願いを生かした指導の工夫

（1）振り返りカードの活用

- ・学習の積み重ねが分かるよう、単元の学習の流れを明記する。
- ・単元を通して使える一枚のカードにする。
- ・満足度を表すグラフを書かせ、めあてに対する自己評価をさせる。
- ・毎時間、感想を書かせ、子どもの思いや次時への願いを引き出す。
- ・教師からの評価を書き、自分のよさを見てもらおうとする意欲を持たせる。
- ・友達を評価することで、子どもたち同士で「見る」意識を持たせる。

（2）教師の声かけ、アドバイス

●見取り、声かけするための環境づくりを行う。

- ・子どもたちの隊形を工夫し、見取る場を設定する。
- ・音楽をかける機器の操作にとらわれないよう、事前に予備操作をしておく。
- ・踊っている子どもたちの中に入り、動けない子どもに個別に声掛けをする。

●教師の言葉がけの工夫

- ・単元を通して目指す子どもの姿を明確に持ち、毎時間目指す子どもの姿の具現化に向けた「変化を与える言葉がけ」と「意味付けをする言葉がけ」を意識する。（※指導と評価の一体化につながる。）

③ 児童の関心ややる気を高める評価の工夫

（1）動きのよさや工夫を認める教師の見取り

- ・見取るための環境をつくる。（②（2）教師の声かけ、アドバイスに記載）
- ・振り返りカードに教師が評価を記入する。
- ・2種類の言葉掛けを意識する。（②（2）教師の言葉がけの工夫に記載）

（2）単元を通した目指す児童の姿の設定。子どもの動きの変容の記録

- ・学習活動に即した評価規準を設定する。（3 評価規準（3）に記載）
- ・授業記録と振り返りカードに書かれた子どもの自己評価の記録

以上の点をふまえ、本単元の指導を行っていく。

4 単元指導計画 ※ 作成例は別紙参照のこと

5 本時の指導（4／6）

（1）本時のねらい

- ・自分に合ったリズムの曲を選び、友達とかかわり合いながら踊ることができるようにする。 (思考)
- ・友達とかかわりながら協力して踊ることができるようにする。 (態度)
- ・自分にあったリズムの曲を選択して踊ることができるようにする。 (技能)

（2）準備物

CDデッキ（児童用6つ） ・ 教師用CDデッキセット ・ ワイヤレスマイク
小太鼓セット ・ 移動用黒板 ・ 掲示物

（3）学習過程

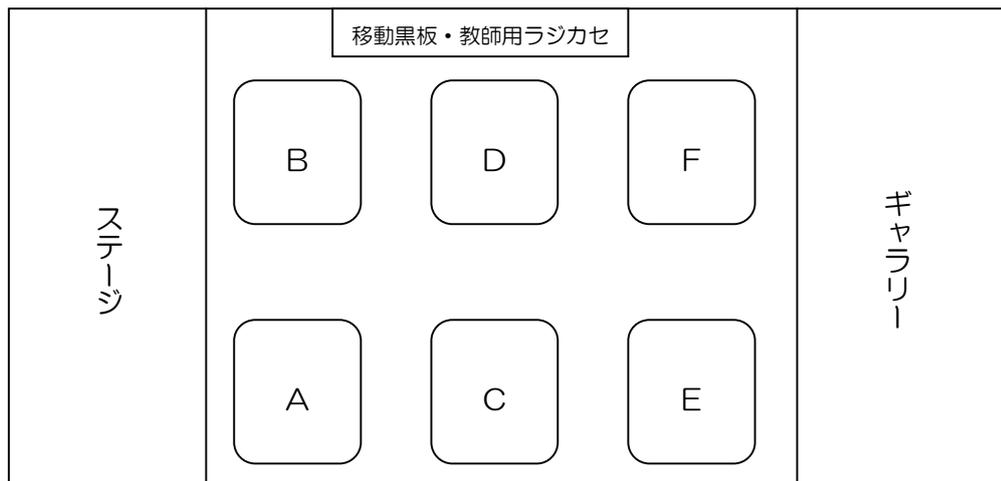
	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価（☆）
導入 (10分)	1 集合・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードと「動キーワード」が貼られた黒板掲示をもとに、これまでの動きのポイントを振り返る。
	2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> お気に入りのリズムの曲を選んで、友達と動きを考えておどろう。 </div> 3 ウォーミングアップ (1) ストレッチ（音楽有り） <small>【葉加瀬太郎 エトピリカ】</small> (2) ダンスウォーミングアップ <small>【EXILE 銀河鉄道999】</small>	
展開 (60分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">活動1（3分）</div> 4 リズムの違う2つの曲を聞き、好みのリズムごとに分かれる。 遅いリズム【EXILE WON' T BE LONG】 速いリズム【EXILE VICTRY】	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに使用した音楽のうち、リズムの違う2つの曲に注目して一部分を聞かせる。 ・4～5人のグループを作らせる。男女の混合は問わず、近くに集まった友達で集まらせる。 ・動キーワードをもとに色々な動きをさせる。1分間ずつ踊ったり休んだりさせる。 ・見られる方向を考え、1人1案をつなげて作品にする。 ・ミニミニ交流会に向けて作品を仕上げさせる。 ・様々な動きを出し合えるよう動キーワードをもとに、一人一人異なる踊りになるよう声掛けする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆自分に合ったリズムの曲を選び、友達とかかわりあいながら協力して踊ろうとしている。【運動についての思考・判断】（観察） </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">活動2（27分）</div> 5 好みのリズムごとに別れ、友達とかかわって踊り、短い作品をつくる。 (1) 一人の即興（5分） <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて、大きく踊る。 (2) グループの即興（10分） <ul style="list-style-type: none"> ・1人1案をつなげて作品づくりをする。 ・1人1案の次に友達と案を出し合っ て踊った後は、集団の演技（組み技、ラインダンス等）を作る。 ・「始め」と「終わり」のポーズもつけて作品を完成させる。 	

	活動3 (5分) 6 ミニミニ交流会 ・グループ同士で踊りを見合い、感想やアドバイスを伝え合う。	・二つのグループで見せ合い、一人一言感想を言って交流させる。お互いのよさを認め合えるような、具体的に「ほめる」感想を言わせる。
終末 (5分)	7 整理運動 ・ストレッチをする。 8 学習の振り返りをする。 ・今日の授業で楽しかったことやリズムに合わせて踊れた友達、グループについて発表しあう。 ・振り返りカードを書く。 ・次時の学習について知る。	・ストレッチを一斉に行う。 ・振り返りカードには今日の感想を記入させる。 ・印象に残った友達を紹介しあう。 ・グループごとに持ち寄った音楽で短い作品づくりをすることを知らせる。

(4) 評価

学習活動に即した評価規準	Aと判断する学びの姿	Cの児童への手立て
自分にあったリズムの曲を選択して踊ることができる。	自分にあったリズムの曲を動きの大きさや速さ、踊り方に変化を加えることができる。	教師と一緒に体を動かしたり、友達の真似をして踊ったりさせる。また、これまでの学習を思い出しどんな動きをしたか教師や友達と一緒に思い出させる。

(5) 場の構成



- ・6グループの場合の練習場所、発表場所配置。
- ・4～5人のグループの場合5～7グループになる。
- ・ミニミニ交流会の際は、グループでペアを組ませる。
例えば〔A・B〕〔C・D〕〔E・F〕の組み合わせでA, D, Eが先に発表する。

(6) 資料

○振り返りカード（別紙参照）

○活用文献

- ・小学校学習指導要領解説 体育編
- ・たのしいたいいく 3年生・4年生〔雪国・寒冷地版〕 ぶんけい
- ・平成23年度仙台市小学校教育研究会体育部会研究集録第24集
- ・女子体育 平成23年度7・8月号 ー初めての指導・一歩進んだ指導ー
- ・女子体育 平成23年度8・9月号

保存版！ダンス指導ハンドブックⅢ ー単元とさらに進んだ素材集ー

- ・教育技術MOOK よくわかるDVDシリーズ

新学習指導要領対応 表現運動・表現の最新指導法 小学館

- ・明日からトライ！ダンスの授業 DVD付 全国ダンス・表現運動授業研究会編 大修館書店

○指導用CDデッキセット

